



▲『トスカ』トスカ役



▲『静と義経』
(北条)政子役



母・節子さんが描いた舞台中の弥恵さんの絵画とともに

今月のFujimist

東城 弥恵 さん(ソプラノ歌手)



☎ 秘書広報課 ☎049-256-9535

オペラでつながる一期一会を大切に

「日ごろ応援してくださる市民の皆さんの前で歌えることがとてもうれしいです」と語るのは、9月にキラリ☆ふじみで行われる「オペラの宴～秋川雅史とオーケストラ・コンサート～」に出演する、市内在住のソプラノ歌手・東城弥恵さん。

歌うことが好きな家族で、家には歌があふれている中で育ち、東京藝術大学在学中にオーディションで主役デビューを飾った。舞台には全身全霊で挑み、ドラマチックな歌声で多くの感動を生み出してきた。「感情豊かな役が好きで、“変身”する役が多いかも」という東城さんは、広い音域を自由自在に歌い分け、聴いた人の思い出を色鮮やかにし、感情を揺さぶる。感極まった観客が涙を流す姿や、「生きる力をもらえました」との言葉がうれしかったと話し、自身も目を潤ませる。

オペラに心血を注いできた人生だが、後悔していることがある。それは子どもを出産した3か月後の舞台のこと。やれる自信があり引き受けたが、体調不良で代役を立てなければならなくなった。「私の歌を楽しみにされていた方々が、帰り際に

見せた残念そうな顔がいまだに忘れられません」。代役を立てたのは後にも先にもこの一度だけであるが、昨日のことに思い出す。「オペラは、演者だけではなく観客の皆さんも含め、みんなで作り上げるもの。同じ舞台は一つもないんです」と一期一会の出会いを大切に、今日も体調管理は欠かさない。

人生経験が表現力を彩っていく

育児や義親の介護のさなかも歌をやめることはなかった。子どもが体調不良で入院したときには、十分な睡眠を取らず病院から舞台に向かった。育児と舞台を両立する東城さんの姿に、母は「強くなったね」とねぎらった。さまざまな経験を経たことで歌にも深みが増し「いい歌が歌えている。これからもっと良くなるよ」と師匠から贈られた言葉が心底うれしかった。歌にも家族にも、懸命に愛情を注いできた東城さんは「これから先の経験も歌に生きてくると思うと楽しみです」と語る。

まさに自身の当たり役と評されるトスカの『歌に生き愛に生き』がオペラで長く愛され続けてきたように、歌と愛に生きる東城さんの歌声は、これからも観客の心を震わせることだろう。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報『富士見』を多言語で



【マチイロ】広報『富士見』をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ ☎ 049-251-2711(代)

FAX 049-254-2000
〒354-8511
富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

広報『富士見』(毎月1日発行)は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。
声の広報『富士見』(音声DAISY(ディジー)版)は市内図書館で貸し出しています(市ホームページで聴くこともできます)。

